



”乗る”じゃなくて”押す”

1歳児つくし組の子どもたちが園庭で楽しむ姿がありました。カート置き場から4輪のスクーターを押して広場に持ってきます。平らな場所に着くとまたがって前に進んだり後ろに進んだり。前に進もうとするあまり、スクーターじゃなくて自分の体が前に進みます。漕ぎ着にくくなって後ろに体を戻すと、もう一度チャレンジ！どうやったら思い通りに前に進むんだろうと、自分の体全体を使って試行錯誤する子どもたちの姿がありました。

そんな中、一向にまたがろうとしないY君の姿が見られました。しばらく様子を見てみると、「乗る」ではなく「押す」を楽しんでいる様子。園庭の端から端まで一生懸命に押しています。

ふと周りを見てみると・・・、そこにはお散歩カートを押す保育者の姿がありました。「なるほど！」と私も納得。Yくん、先生の真似をしていたんだと感じました。安心できる保育者が近くにいることでどんどん遊びや生活の幅が広がっていく乳児期の子どもたち。きっとお家でも大好きなお母さんお父さんを真似したりお姉ちゃんの真似をしたり。そんな姿があるんだろうな・・・と。園でも大好きな先生を真似る。そんな姿が見られています。

2025/11/17

